

2017・18年度
国際ロータリー第2790地区

GOVERNOR'S MONTHLY COMMUNICATION

TO CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES IN DISTRICT 2790 (CHIBA)

月刊

11

2017年
NOVEMBER
VOL. 5

谷文晁
駱駝図



文晁
辛酉年三月
晁画

ロータリー財団月間



ロータリー：
変化をもたらす



COPY FOR MEMBERS

地区行動指針 理念と実践 ～Think Next～



国際ロータリー第2790地区 寺嶋 哲生 (柏RC)
2017-18年度ガバナー

事業と運営

ガバナーを拝命するに当たり、私は地区運営に関する基本的な考え方として、①理念と実践、②事業と運営、③継続と革新の三つの観点を提示いたしました。先月号では、①理念と実践についての私見を記しましたので、今日は②事業と運営について、記させていただきます。

平成20年から5年間に渡って行われた「公益法人の抜本的改革」によれば、公益財団法人や公益社団法人といった公益法人に認定される基準として、実施する個々の事業に対しては「収支相償」という概念が、財務諸表全体に対しては「公益目的事業比率」という概念が提示されました。

収支相償とは、個々の事業を実施するに当たり事業から得られた収入と、事業を実施するに要した費用の比較で、公益事業と認定されるには、収入が支出を上回ってはならない事とされます。端的に申せば、公益事業は赤字で行われなければならないという事です。ロータリーの行う事業は、殆どが無償の行為によって提供される訳ですから、少なくとも収支相償については全く問題なく認められることとなります。

一方の公益目的事業比率ですが、これをクリアする事は、中々ハードルが高くなります。そもそも公益事業の定義として、不特定かつ多数の福祉の向上に役立つ事業であるとされます。ですから、例えばロータリーの行う親睦事業。この受益者は会員自身という事となり、不特定多数ではありません。従っ

て、共益的な事業として認知され、公益事業としては認められない事となります。ロータリーの行う社会奉仕や国際奉仕、青少年奉仕に掛かる費用のみが、公益事業費として認定されることとなります。但し、一つ例外的な計算が許され、それはボランティアで参加した人員の件数費は、社会通念上常識的に判断される最低限の費用が掛かったものと見做してよいとされます。例えば、ある事業を実施するに当たり、ロータリアンが20人で5時間奉仕したとすれば、時給1000円×5時間×20人で、総額10万円の費用が掛かったものと見做してよい事になります。そのように計算した公益事業費が、年間を通した総額で、その法人の経常的支出の50%を超えている事。公益法人の認定を受けるには、この要件を満たさなければなりません。

勿論、ロータリークラブは法人化されていない任意団体ですし、公益性の認定を目指している訳ではありません。そもそも会員間の親睦も、極めて重要な事業の柱の一つですから、公益目的事業比率を50%以上にすべき蓋然性ははありません。しかし、RIが世界有数のボランティア団体を目指しているのであれば、私達の支出する会費の使われ方が、幾許かでも公益的に使われる比率を高める。そんな意識は大切であると思います。地区運営においても、公益目的事業比率を意識する。私はそんな思いを大切にしております。



会員増強・退会防止セミナー

管理運営統括委員会

会員増強・退会防止委員会 委員長 増谷 信一（柏西RC）

8月の会員増強・新クラブ結成推進月間に合わせて、「会員増強・退会防止セミナー」を、8月26日土曜日に千葉市のTKPガーデンシティ千葉におきまして開催致しました。

当日は、地区行事が4か所で開催をされておりました為に、それぞれに参加者が分散してしまいました。

その中、寺嶋ガバナーを始め、橋岡ガバナーエレクト・宇佐見地区研修サブリーダー・神野



地区幹事長のご出席を頂き、又、地区内83クラブより会長・幹事・会員増強委員長を含めまして、合計133名の皆様に参加をして頂きました。

当日は、2部構成でセミナーを開催致しました。

第1部は、パネルディスカッション。歴代の会員増強・退会防止委員長3名の方々より、各年度の委員会事業の成果や成功事例等のお話があり、退会防止についても貴重なお話を頂きました。又、地区内女性会員数が一番多い柏RCより、女性会員の拡大の秘訣や女性会員が入る事のメリット・デメリットについてもお話を聞く事が出来ました。



第2部は、テーブルディスカッションを行い、15

テーブルに分かれ1部のパネルディスカッションを参考にして、会長や幹事の立場から、又、会員増強委員長の立場から「会員増強・退会防止」についてのご意見を出して頂きました。

各テーブルが、クラブの現状から始まり拡大の必要性や会員増強の取組、又退会防止についても、活発な意見が数多く出され、その中からランダムに6テーブルを選び、各テーブルでの討議内容を発表して頂きました。



最後に、宇佐見地区研修サブリーダーより第1部・第2部を通しての総評を頂き、無事に「会員増強・退会防止セミナー」を終了する事が出来ました。

会員拡大は、誰かが入れるだろうでは無く、会長や幹事・会員増強担当委員長が中心となり、会員一人ひとり並びに同業者や趣味仲間がグループ単位で本気で会員拡大に取り組む事が大切です。又、女性会員を増やす為には、現役の女性会員同志が連携をしい、クラブや分区を超えての推薦や紹介が必要では無いでしょうか！

そして、退会防止に対しては年間を通して、年齢的な問題や病気・諸事情を除き、スポンサーを先頭にクラブ全体で取り組み、フォローをして行くことが退会防止につながると考えております。

当日、ご参加を下さいました地区役員の皆様並びに地区内83クラブの会長・幹事・会員増強委員長の皆様、ありがとうございました。



T.R.F. (The Rotary Foundation) について

ロータリー財団統括委員会 委員長 宇佐見 透 (千葉幕張RC)

11月は財団月間です。この機会にロータリーにおける財団活動についてクラブの皆さんで大いなる議論がなされることを熱望して止みません。

財団創設から1世紀を経て、新たな方針「ロータリー未来の夢計画」が地区導入され4年が経過しました。今年度地区内では38本の地区補助金プログラムが展開されております。またグローバル補助金を使う国際奉仕プログラムも2本が実施中であり、更に1本がRIからの承認待ちです。

地区奉仕プロジェクト委員会による広報活動や地区内83クラブの会長をはじめ、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕の各奉仕委員長、財団委員長等々、皆様による連携プレーの賜物です。また一昨年に続き昨年度も寄付0クラブの消滅が達成されました。特に昨年度は、日本国内にある2,270クラブ全てが年次寄付にご協力頂けたとの報告もありました。本当にありがとうございました。

今年度は前期が終る今年中に、まずは一部で構いませんので、年次寄付へのご協力をお願い申し上げます。皆様からお預かりした年次寄付は3年間財団本部で管理運営された後、寄付額の50%が地区に戻されます。それにベネファクター基金の運用益も加算され、例年11月末に次年度の地区予算総額が公表されます。

財団月間が11月に設けられているのは、12月末までに各クラブは総会を開催し、次年度会長エレクトを始め新執行部が選出され次年度のクラブ活動方針が決定されるためです。そこで新執行部の役員の方々による次年度奉仕事業の活動計画について、DDF: District Designated FundやWF: World Fundを利用されクラブの活性化に繋げて頂きたいからです。年明け2月には補助金セミナーを開催し、次年度新執行部の皆様には詳細なMOUの締結方法や補

助金申請についての詳しい説明会を予定しています。

次にロータリー財団が行っている活動で、1947年に始まった次世代を育成する教育プログラムと、1978年に始まったポリオプログラムは発展しつつ現在に至っています。特にポリオはここ数年で感染者数が激減しており、合言葉通り“あと1歩”の状況です。月信1月号でも紙面を頂いており、詳細なご説明をさせて頂く予定です。

今年度財団委員会に「ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会」が運営している通称“ロータリー希望の風奨学金プログラム”の広報活動を推進する委員会が設置されました。2011年3月11日14時46分に発生した超巨大地震は、関東大震災を上回り、日本観測史上最大規模且つ、1900年以降世界規模でも4番目という大災害をもたらしました。

ロータリーは同時に発生した津波により、愛する父母を失った青少年を救済、支援するプログラムをいち早く打ち出しました。当時ガバナーを務められた故織田吉郎パストガバナーが中心となられ、未来を見据えたロータリーらしいプログラムとして東奔西走され立ち上げられた活動です。

丸6年が経過しても原発事故災害に起因する様々な問題を始め、当地区でも津波被害や液状化からの復興など、多くの問題が未解決ですが、明日の日本を支えてくれるであろう若者の育成にこそ力を注ぐべきとの思いから、寺嶋ガバナーが希望の風推進委員会を設置下さいました。今までに支援した学生数は765名にのぼり、支給金額は7億8,300円になります。地区HPにも詳しい活動内容が掲載してありますのでご覧いただければと思います。

今後ともロータリー財団の活動にご協力をお願い申し上げます。



グローバル補助金で変化をもたらす。

グローバルプロジェクト委員会
委員長 時田 清次 (市原中央RC)

今年度のRI会長イアンH.S.ライズリー氏は2017-18年度のテーマを「ROTARY:変化をもたらす。」としています。

これは奉仕活動により、人々の人生に変化をもたらせようという意味であります。奉仕活動をするためには労力と資金が必要になります。その資金を上手に調達できれば十分な成果を発揮できることと思えます。

ここでは「グローバル補助金の種類」、「地区補助金とグローバル補助金の違い」、「グローバル補助金の使用条件」について以下のとおり説明します。

グローバル補助金は、ロータリーの6つの重点分野に該当し、持続可能かつ測定可能な成果をもたらす大規模な国際的活動を支援します。

1) グローバル補助金による活動の種類としては下記の3種類となります。

・人道的プロジェクト・奨学金・職業研修チーム

2) 地区補助金とグローバル補助金との違いとして、次の3つの事項をすべてクリアできればグローバル補助金申請を勧めます。

- ・事業予算が30,000USD以上
- ・6つの重点項目に合致している
- ・実施国のロータリークラブとの合同事業

3) グローバル補助金の使用条件

- ①持続可能であり、補助金の資金が使い尽くされた後も活動成果を長期的に持続させるための計画を含んでいること（ここでは同じ事業には1度しか援助しない。援助した事業で自立し事業を継続してもらいたい）
- ②測定可能な目標を持っていること（費用対効果で貴重な寄付金がどのように使われどのような成果があったか検証します）
- ③6つの重点分野のいずれかに該当すること
- ④地域社会のニーズに応えること
（計画段階から地域社会のニーズを取り込んで立案しなければいけません）
- ⑤ロータリアンと地域社会の人々の両方が積極的に参加すること（ただ補助金を出すだけでなくプロジェクトを成功させるため役割分担を決めロータリアンが汗をかくことが求められています）
- ⑥補助金の「授与と受諾の条件」に記載された要件を順守すること



地区補助金で地域社会とロータリーに変化をもたらす。

地区補助金プロジェクト委員会
委員長 清水 隆 (千葉若潮RC)

各クラブが立案する奉仕事業の財政的なサポートとして地区補助金をお考え下さい。

地区補助金を活用しての奉仕プロジェクトで「より良い社会を作る」ことが地域社会とロータリークラブの発展に繋がってゆきます。多くの奉仕活動を行うことで地域社会の力を引出し、クラブとロータリアンの力をも引き出すことになり、併せてクラブの活性化にも繋がると思っています。クラブを発展させることは地域社会への貢献となり、ロータリーの広報にも繋がります。結果的には会員増強にも繋がってゆくでしょう。

地区補助金はRIからの要請によりロータリー年度が始まるより半年早く始動することになります。

次年度地区補助金申請を今年度の時期や期間で説明しますと、下期2月初旬に地区補助金管理セミナーを開催します。

3月1日～31日の1ヶ月間、地区補助金申請の受付をおこないます。4月に申請書の審査を行い、5月中旬にRIへの一括申請をおこないます。このスケジュールで地区補助金申請を実施しませんでしたと次年度7月1日までに間に合いません。

2018-19年度（橋岡ガバナーエレクト）に各クラブが実施する奉仕事業を、どの様にするのかと地区補助金の活用と併せて長期計画案としてご検討下さい。

地区補助金申請は難しい、よく解らないという声をよく聞きますが、以上のタイムスケジュールをご理解して頂き、各クラブが柔軟性を取り入れることにより理解しやすくなると思っています。併せて地区R財団セミナーや地区補助金管理セミナーには、83クラブ全ての皆様にご参加をお願い申し上げ、情報の共有となればと思っています。

最後に地区補助金を利用するには「クラブ参加資格認定」を取得せねばなりません。覚書(MOU)の締結をおこなう事と、平成30年2月初旬に開催予定の地区補助金管理セミナーに少なくとも1名参加することが必須条件です。2790地区では認定要件として以上2点を義務付けています。

情報研修会・研究会報告



第3分区A ガバナー補佐
宮本 和夫 (千葉幕張RC)

第3分区AのR情報研修会は、9月15日東京ベイ幕張を会場に、関口研修リーダーをはじめ、橋岡エレクト、諸岡ノミニ、分区内7クラブ及び分区外からも多くの参加があり、100名を超える参加者で盛会となりました。講師には、今最も注目を集めておられる“日本のロータリー100周年委員会のビジョン策定特別委員長”本田 博己様 (RID2840前橋RC PDG) をお迎えし、「2020年、そしてその先の日本のロータリー」というテーマでご講演頂きました。事前に、2016年の規定審議会による大幅な改正は何故行われたのか、国際ロータリーが描く真の戦略とは何なのか、更には月信1月号(2017 VOL.65)に寄稿された「職業奉仕」について、噛み砕いた要旨など、お話頂く様お願いしておりました。本田様は

100枚を超えるパワーポイントを使いながら、1時間半に及び、懇切丁寧に解り易い事例を挙げ、ロータリーの神髄にある職業奉仕論を話されました。また先の、規定審議会で「ロータリーの目的」に「青少年奉仕」を第5項目として追加しようとするRI理事会提案の立法案は取り下げられたという最新情報までお話し下さいました。使われましたパワーポイントは幕張RCのHPに掲載致しましたのでご覧ください。

最後に会場設営にご尽力頂きました、東京ベイ幕張総支配人宮内孝二様、及び講師の本田様への細やかな対応を指示下さったホテルザ・マンハッタン総支配人砂畑頼孝様に深く感謝申し上げます。



第3分区B ガバナー補佐
小池 清二 (市原RC)

9月13日(水)に第3分区Bロータリー情報研修会を市原市五井グランドホテルにて開催致しました。参加者は6クラブから63名、研修会の講演並びにアドバイザーとして地区委員会から11名が参加され、ご指導を頂きました。

今年度のRI会長テーマは「ロータリー・変化をもたらす」。寺嶋ガバナー年度の地区テーマは「理念と奉仕」です。いずれもロータリーの理念を学び奉仕することが、地域や世界の人々を幸せに変化させ、ロータリアンの中核的価値観も育成されて行くものと提唱しています。私はクラブの活性化を入会年度の浅い会員にも求め、それにはロータリーの理念を早期に学んで頂く為、研究・研修統括委員会内の3委員会の企画を採用させて頂きました。

第1部は「ロータリアンであることを誇りにしよ

う」と題し、他に比類のないロータリーの理念を理解して頂く為に、地区委員会の考案した内容で、パワーポイントを使って説明致しました。これだけ理解すれば「ロータリアンであることを誇りにしよう」ということが出来るようになるでしょう。

第2部は第1部の内容を題材として、10テーブルでテーブルリーダーの司会の下、RLI方式のディスカッションで参加者全員が意見を述べ合い、他人の意見を尊重し、参考にして今後のロータリーライフに活かせる方法を学ばれた事と思いました。研修会の内容をクラブで更に学び、ロータリアンの誇りを増すよう期待致します。





第2分区 ガバナー補佐
国分 裕二 (船橋みなとRC)

国際ロータリー第2790地区の皆さんこんにちは。第二分区ガバナー補佐を務めさせて頂いております国分裕二と申します。今年度の当分区で行いました情報研究会のご報告をさせて頂きます。

9月19日に開催しました情報研究会のテーマ「我がクラブの奉仕活動」として、分区の各クラブがこの一年の間で活動してこられた奉仕活動を分区の仲間にお互い披露して頂くという企画でした。

発表の際は、私からその活動に至るまでの様々な問題やご苦勞をされた事なども添えて頂いて、最後は是非思い切り自慢話として御披露して頂くようお願い致しました。

パソコン、DVD、プロジェクター等をそれぞれのクラブのプレゼンターの方々が駆使して発表して頂

き、分区内の異なるクラブに於いて、自分達のクラブの活動には無かったやり方や着眼点などを持っている事を改めて知るととても良い機会でありました。

地区からは奉仕活動プロジェクト統括委員長である石井弘様より第二分区以外の様々なクラブ奉仕活動などを御披露して頂き、とても参考になりました。

その後の懇親会も多くの仲間が参加され、分区内の親睦を深められ盛況の中、閉会となりましたことご報告いたします。

ありがとうございました。



第10分区 ガバナー補佐
大内 啓 (柏南RC)

第10分区は昨年に引き続き「テーブルディスカッションを中心とした研修会」の方式を取らせて頂きました。5年未満41名、5年以上47名、合計87名の参加を得、それぞれのグループに様々な経験年数を持つ会員を配置して、(7~8人)編成の12グループで「ロータリアンであることを誇りにしよう」をテーマにディスカッションをして頂きました。ルールは“自由にディスカッションに参加・自分に謙虚・注意深く聞く・経験を自由に語り合う・本題から離れない・寛容・違った視点に感謝”です。皆さんが胸襟を開いて自由にディスカッションに参加して頂く中でいろいろな発見がありました。ロータリーに留まり続ける意義や目的は、あくまでもそれぞれの人が見出すものではあります。果たして自分の考え方は、身勝手な理屈の上に成りたっていないか固定観

念や慣習に囚われていないか意見を聞いて貰うことで改めて認識出来ました。また多様性を認め合うことにより立場の異なる各々が自分には何が不足し何をどう学ぶべきかを気付く良い切っ掛けが掴めたのではないのでしょうか。自らが進んでロータリーを学ぼうという意欲がなければ理解は深まりません。参加者アンケートでは96%がこの研修会で自己研鑽したいとの意識が高まったと述べ、一方で28%がクラブでの研修状況に物足りなさを感じているようです。これを機にクラブ内で活発なロータリー談義が増えることを期待したいと思います。



文庫通信 (361号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご利用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー資料より

- ◎「米山先生と和田家の父母そして兄」 神崎正陳 米山梅吉記念館 2017 6p (館報Vol.30)
- ◎「ポール・ハリスはフリーメーソンだった」 塚原房樹 2016 2p (D.2510月信)
- ◎「ロータリーへの道 私達のポール・ハリス研究」 西宮夙川R.C. 1996 58p
- ◎「ロータリーの歴史年表(2017年8月改訂版)」 諏訪昭登 2017 10p
- ◎「ロータリー歴史探訪」 田中毅 [2004] 131p
- ◎「ロータリーの向かう所」 斎藤直美 2017 3p (D.2830地区大会記録誌)
- ◎「2つの奉仕理念と実践活動」 石井良昌 2017 7p (D.2670地区大会記録)
- ◎「ロータリーにはなぜ高潔性Integrityが必要？」 刀根莊兵衛 2017 3p (D.2650月信)
- ◎「ロータリーの心を学ぶ」 富田英壽 2017 3p (D.2700月信)

[上記申込先:ロータリー文庫]

—— ロータリー文庫 ——

〒105-0011東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506
http://www.rotary-bunko.gr.jp 開館:午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

(公財) ロータリー米山記念奨学会ニュース (ハイライトよねやま211号)

今月のトピックス

- ・よねやま親善大使が大活躍 in 熊本・静岡
- ・寄付金速報 — 50周年の米山月間にご協力！ —
- ・50周年記念のネクタイ・スカーフ好評頒布中
- ・高校生との多文化交流！ — 東京米山友愛RC —

《今月のピックアップ記事》

50周年記念のネクタイ・スカーフ好評頒布中

財団設立50周年記念グッズとして制作したネクタイとスカーフ(いずれも2,500円、送料込)を好評頒布中です。よねやまのシンボルマークをあしらったデザインですので、地区米山奨学委員会でお揃いのネクタイを着用したいと購入される地区もあります。

ネクタイには同布のポケットチーフがセットになっています。ネクタイは各種500本、スカーフは100枚限定ですので、ご希望の方はお早めにお申し込みください。

お申し込み方法は、

- ①米山奨学会ホームページの50周年特設ページからWebで申し込む→<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/50th#goods>
- ②米山月間資料の50周年グッズご案内チラシをFAXのいずれかです。

また、50周年記念誌(1冊1,800円、送料込)も、同ページから注文することができます。皆さまからのご注文をお待ちしています！

そのほかの記事は、ぜひPDF版をご覧ください。→http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight211_pdf.pdf

叙勲・褒賞・表彰 (敬称略)

地方自治法施工70周年記念監査事務功労者
総務大臣表彰



松丸 幹雄
(鎌ヶ谷RC)

寄付者紹介 (敬称略)

ロータリー財団寄付

メジャードナー



諸岡 靖彦
(成田RC)



石橋菊太郎
(成田RC)



藤崎 康人
(成田コスモポリタンRC)



三代川利男
(習志野中央RC)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



鈴木 秀承
(鎌ヶ谷RC)
8回目



少名子正彬
(柏RC)
8回目



日暮 肇
(柏西RC)
7回目



佐野 正子
(浦安RC)
5回目



林 康博
(成田コスモポリタンRC)
5回目



長谷川秀夫
(柏RC)
4回目・5回目



鈴木 恭一
(成田空港南RC)
4回目



石戸新一郎
(柏RC)
4回目



小川 義則
(袖ヶ浦RC)
3回目



宮田 明俊
(成田コスモポリタンRC)
3回目



神谷 修一
(成田コスモポリタンRC)
3回目



石田 喜一
(成田空港南RC)
2回目



齊藤三智夫
(成田RC)
2回目



宇都宮高明
(成田コスモポリタンRC)
2回目



福田 稔
(成田コスモポリタンRC)
2回目



井上 英博
(柏RC)
1回目・2回目



勝田 秀一
(柏RC)
2回目



中沢由岐子
(柏RC)
2回目



鈴木 秀一
(柏RC)
2回目



中島 康子
(柏RC)
2回目



島田 秀貴
(柏RC)
2回目



高田 新也
(柏RC)
2回目



平山 秀樹
(成田RC)
1回目

新ポール・ハリス・フェロー

ポリオ・プラス



横山 英樹
(成田コスモポリタンRC)



木村 齊
(成田コスモポリタンRC)



川島 孝之
(成田コスモポリタンRC)



池田 和彦
(成田コスモポリタンRC)



鈴木 啓文
(柏RC)



設楽 正行
(成田RC)



小寺 真澄
(成田RC)



成田 温
(成田RC)

希望の風奨学金

米山功労者



山口 習明
(船橋東RC)



土屋 亮平
(松戸RC)
24回目



鈴木 秀承
(鎌ヶ谷RC)
16回目



藤井 毅
(佐倉RC)
12回目



小川 賢
(成田RC)
11回目



諸岡 靖彦
(成田RC)
10回目



設楽 正行
(成田RC)
10回目



平山 秀樹
(成田RC)
7回目



佐野 昭雄
(館山ベイRC)
4回目



原 正明
(松戸中央RC)
2回目



戸村 正宏
(成田コスモポリタンRC)
1回目



出山 嘉彦
(成田コスモポリタンRC)
1回目

新ロータリアン (敬称略)



園邊 哲
(柏南RC)
画廊
6月20日入会



宮本 邦雄
(柏南RC)
不動産業
6月27日入会



今井 昇
(柏南RC)
教育
7月4日入会



松本 大樹
(成田RC)
空港管理
7月28日入会



大橋 創一
(成田RC)
地方、外国為替銀行
7月28日入会



桜井 誠
(成田RC)
ガス供給
7月28日入会



池田 哲郎
(上総RC)
博物館
8月10日入会



小鹿 文彦
(市川東RC)
税理士
9月1日入会



佐久間淳宏
(勝浦RC)
プラスチック工業
発砲スチロール製造
9月1日入会



伊藤 昭仁
(松戸東RC)
建築材料小売
9月1日入会



下鶴 泰久
(千葉RC)
広告取扱
9月4日入会



藤井 雅子
(千葉RC)
弁護士
9月4日入会



山本 和広
(野田RC)
建築請負
9月4日入会



遠藤 陽介
(八千代中央RC)
小売業
9月5日入会



倉島 和広
(木更津東RC)
中国料理店
9月6日入会



松丸 政司
(松戸北RC)
不動産管理
9月6日入会



芦澤直太郎
(習志野中央RC)
機械製造業
9月7日入会



西田 英史
(習志野RC)
証券業
9月13日入会



林 作雄
(成田RC)
自動車修理
9月15日入会



成島 陽子
(成田RC)
保育園
9月15日入会



竹澤 雅彦
(柏西RC)
損害保険業
9月22日入会



坂本 直樹
(君津RC)
貨物自動車運送
9月25日入会



萩原 吉春
(多古RC)
設備工事
10月1日入会



高山 春人
(多古RC)
建築資材卸売
10月1日入会



羽田 安雄
(市川シビックRC)
不動産賃貸
10月2日入会

国際ロータリー第2790地区（千葉）出席・会員数報告（2017年9月）

分区	クラブ名	出席率 (%)	例会数	会員数				
				2017 7/1	女性	当月	女性	増減
第1分区	市川	91.66	3	40	1	40	1	0
	市川東	100.00	3	43	3	44	3	1
	市川南	71.25	4	19	2	20	2	1
	浦安	88.90	4	43	2	43	2	0
	市川シビック	81.71	2	32	0	33	0	1
	浦安ベイ	79.30	3	13	0	14	0	1
平均	85.47	3.17	31.67	1.33	32.33	1.33	4	
第2分区	船橋	92.72	4	29	0	31	0	2
	船橋西	87.71	5	42	7	43	7	1
	鎌ヶ谷	80.53	4	34	2	34	2	0
	船橋東	88.80	4	32	3	31	3	△1
	船橋南	100.00	3	13	1	14	1	1
	船橋みなと	90.34	4	20	4	20	4	0
平均	90.02	4.00	28.33	2.83	28.83	2.83	3	
第3分区A	千葉葉	89.75	3	80	3	85	5	5
	新千葉	76.20	4	51	0	52	0	1
	千葉西	76.79	4	45	3	50	3	5
	千葉中央	68.76	3	32	0	36	0	4
	千葉幕張	75.00	4	35	2	37	3	2
	千葉東	74.92	3	34	6	35	6	1
	千葉若潮	80.65	3	31	1	34	1	3
平均	77.44	3.43	44.00	2.14	47.00	2.57	21	
第3分区B	千葉南	72.92	4	47	7	48	6	1
	市原	80.51	3	40	3	40	3	0
	千葉港	87.50	4	24	3	25	3	1
	市原中央	76.87	4	50	1	51	1	1
	千葉北	63.79	4	29	3	29	3	0
	千葉緑	82.05	3	26	1	26	1	0
平均	77.27	3.67	36.00	3.00	36.50	2.83	3	
第4分区	木更津	81.80	3	27	2	29	4	2
	上総	74.99	4	15	0	15	0	0
	富津中央	80.65	3	29	1	33	1	4
	木更津東	81.28	4	46	1	48	2	2
	君津	91.19	3	54	4	58	4	4
	袖ヶ浦	88.10	3	25	4	26	4	1
富津シティ	78.35	4	16	0	15	0	△1	
平均	82.34	3.43	30.29	1.71	32.00	2.14	12	
第5分区	館山	83.28	4	49	3	50	3	1
	鴨川	81.04	4	31	4	33	5	2
	勝浦	95.50	4	36	4	39	4	3
	千倉	79.20	4	6	2	6	2	0
	鋸南	84.60	2	13	1	13	1	0
	館山ベイ	76.43	4	23	0	23	0	0
平均	83.34	3.67	26.33	2.33	27.33	2.50	6	
第6分区	茂原	85.53	4	62	0	64	0	2
	東金	79.99	3	14	1	15	1	1
	大原	97.50	4	9	1	11	1	2
	大多喜	67.50	4	6	1	8	1	2
	成田空港	73.42	3	35	0	34	0	△1
	茂原南	86.31	3	21	1	21	1	0
	茂原中央	69.05	4	21	2	21	2	0
	大網	73.12	3	31	1	31	1	0
東金ビュー	65.00	3	20	1	20	1	0	
平均	77.49	3.44	24.33	0.89	25.00	0.89	6	

分区	クラブ名	出席率 (%)	例会数	会員数				
				2017 7/1	女性	当月	女性	増減
第7分区	銚子	90.04	4	39	4	40	4	1
	旭	73.80	4	43	3	45	4	2
	八日市場	61.40	4	38	2	38	2	0
	銚子東	81.83	4	32	2	32	2	0
	平均	76.77	4.00	38.00	2.75	38.75	3.00	3
第8分区	佐原	83.68	3	49	0	51	0	2
	多古	75.00	3	15	0	15	0	0
	小見川	94.20	3	23	0	23	0	0
	佐原香取	73.01	3	25	1	25	1	0
平均	81.47	3.00	28.00	0.25	28.50	0.25	2	
第9分区	成田	72.70	5	69	4	74	5	5
	八街	86.93	4	30	3	31	3	1
	印西	75.90	2	20	1	18	1	△2
	白井	47.91	3	15	0	16	0	1
	富里	77.94	4	30	0	32	0	2
	成田コスモポリタン	73.22	4	69	0	69	0	0
平均	72.43	3.67	38.83	1.33	40.00	1.50	7	
第10分区	柏	87.90	4	62	9	62	9	0
	我孫子	78.19	4	26	3	26	3	0
	柏西	86.78	4	62	3	65	3	3
	柏東	83.28	4	35	6	36	6	1
	柏南	72.00	4	33	5	37	6	4
	平均	81.63	4.00	43.60	5.20	45.20	5.40	8
第11分区	習志野	86.28	4	26	2	26	2	0
	八千代	88.84	5	51	0	51	0	0
	佐倉	56.90	4	28	3	29	3	1
	八千代中央	80.30	3	22	1	22	1	0
	四街道	70.53	4	27	3	28	3	1
	習志野中央	76.41	4	48	5	53	5	5
	佐倉中央	69.48	4	21	5	21	6	0
平均	75.53	4.00	31.86	2.71	32.86	2.86	7	
第12分区	松戸	89.25	4	55	0	57	0	2
	松戸東	90.96	5	46	0	45	0	△1
	松戸北	82.78	4	39	0	40	0	1
	松戸中央	84.70	3	44	6	44	6	0
	松戸西	82.76	3	29	0	29	0	0
	平均	86.09	3.80	42.60	1.20	43.00	1.20	2
第13分区	野田	77.58	3	54	7	56	7	2
	流山	74.99	2	14	4	14	4	0
	野田東	82.86	5	22	0	22	0	0
	流山中央	84.63	3	22	2	23	2	1
	野田セントラル	80.57	4	25	1	25	1	0
平均	80.13	3.40	27.40	2.80	28.00	2.80	3	

クラブ数83RC		
2017年7月1日	地区会員数	2,761人
2017年9月末日	地区会員数	2,848人
2017年7月1日	地区女性会員数	177人
2017年9月末日	地区女性会員数	187人
当月平均出席率		81.07%
増減		+87
女性会員増減		+10

11月のロータリーレート

114円



インターアクト年次大会報告

インターアクト委員会

委員長 須藤 郁雄 (千葉西RC)

国際ロータリー5大奉仕の1つ『青少年奉仕』活動に関しては、地区内14高等学校（千葉県高等学校文化連盟【高文連】インターアクト専門部会所属）・提唱ロータリークラブとの合議の上で行います。

2017～18年度『第51回インターアクト年次大会』が去る8月26日（土）に年次代表市原中央高等学校提唱の市原RCとの企画運営の元高文連・RID2790主催にて大会テーマ『70億の幸せを求めて』を掲げて開催いたしました。

登録・開会式に続き、午前の部では講演「国際社会で世界を変える」～自分たちにもできる国際協力～でNPO法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン（FTCJ）代表中島様よりスライドを使いながら講演いただきました。

70億人が共に生活する地球上で、今何が現実起こっているかや、それらを収め戸惑う人々を救済しようとするボランティア活動に、12歳の少年が1人又1人とその行動に共鳴する仲間を増やしていき、大きな力となるべく行動、活動している。どんな些細な事でも行動を起こすことがいかに大事か、改めて気付かされた事でしょう。

昼食休憩を挟み「ポスターセッション」各校インターアクトクラブ（IAC）作成の活動成果を一枚に表現し、作成した自慢のポスターの前で発表・PRを行いながら、他校の生徒と意見交換、情報共有し、交流を図るという目的で行いました。

午後の部ではワークショップ形式に4つのグループに分かれて、「子どもの権利について」「偏見

について」「教育について」「難民問題について」を午前の講演を元にテーマ別にディスカッションをFTCJ講師の下に行いました。

（年次大会感想文）をみると、感性豊かなインターアクター（高校生）は流石に感じるものが多々あったようです。

閉会式に於いて、まず最初に各ワークショップ代表が各テーマ別に内容報告を行い、引き続き次年度、年次代表校 千葉県立安房拓心高校IAC代表及び学校長より決意挨拶を頂きました。

地区青少年統括委員会（RA・RAC・RYLA）より参加してもらい、各委員会事業のPRをさせて貰いました。各委員会の皆様方には、当行事に参加協力頂きましてありがとうございました。感謝です！

寺嶋ガバナー・神野地区幹事長・諸岡ガバナーノミニー・各RC担当者様には、お忙しい中万障お繰り合わせの上、ご参加頂き有難うございました。

参加総数179名（登録201名）

最後になりますが、市原中央高等学校IAC並び合唱部・市原RCの皆様方には大変お世話になりました。感謝。



奨学生学友委員会だより

米山ロータリー学友会2017年バーベキュー大会

米山奨学生 デットジェンス・マルテ

米山ロータリー奨学生の目線からの米山ロータリー学友会バーベキュー大会の感想をぜひ読んでみてください。私は継続奨学生であり、今年も9月2日に米山学友会バーベキュー大会に参加しました。開催場所は東京情報大学で、千葉駅からかなり離れていました。バスでも40分かかります。しかし、移動時間は長くても、ロータリーファミリーと一緒に楽しいバーベキューができるので、全然大変ではありません。今年3月に卒業した元奨学生、現在学友会メンバーと再会ができ、美味しいバーベキューを食べながら、様々な話ができるのは幸せでした。朝の天気は寒くて、雨が降りそうでしたが、結局は晴れて青空の下で、じゃんけん列車ゲームとスイカ割、○×ゲームを通して、皆がさらに仲良くなったと思います。豊かなバーベキューで、肉がたっぷり、焼きそばと野菜、エビ、イカの他にデザートのお菓子も食べられないぐらい用意がありました。ロータリアンやロータアクトのメンバー、ロータリー関係者の家族や友達も参加し、子供も何人もいたので、賑やかで充実した一日でした。



通算3000回例会 おめでとうございます!

通算3000回例会にて出席率100%を達成しました



り、またインターアクト・ロータアクトのロータリーファミリーと共に今後のクラブ発展を全員で確認しました。

会長 島 正彦
雑誌・対外広報委員長 代田 賢太郎

館山ロータリークラブは去る8月2日、8月第一例会に通算3000回例会を迎え全会員の情熱により出席率100%を達成しました。当日は第5分区内ガバナー補佐をはじめとする同胞クラブの会長幹事のご出席を賜



谷文晁 駱駝図

谷文晁(たにぶんちやう) 生没年…宝暦十三年(天保十一年) 西暦一七六三年(一八四一年)は、江戸時代後期の絵師。狩野派の加藤文麗・南蘋派の渡辺玄対・北宋画の北山寒巖に師事するほか、古土佐・琳派・円山派・四条派・南画・朝鮮絵画・西洋画など、多くの画系・画派を学習する。古画の模写と写生を基礎として、諸派を折衷し南北合体の画風を目指した。その画域は多岐に渡り、独自の画風を確立して、関東南画壇の泰斗となった。